（別記）

# 令和８年度普代村地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

## １　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、岩手県の北部沿岸に位置し、全農用地面積に占める割合が６．８％で、地形等の制約もあり圃場整備が進んでいないため、生産性向上等をより一層進めていく必要がある。

一方、農家数の減少や高齢化により、農業就業構造の弱体化、経営規模の縮小が進み、遊休農地の増加に歯止めがかからない状況となっている。

## ２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農家の高齢化による経営規模の縮小が進んでいる中で、面積単価が高いほうれんそう等を重点作物として位置付け、面積拡大を進めていく。

## ３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

昨年度は、地域振興作物である「ピーマン」の作付面積に応じて助成を行った。中山間地域であり、地域の担い手もいないことからこれ以上の面積拡大は難しく、引き続き支援が必要である。

令和８年度についても、畑作物のみを生産している地域の現地確認を行い、その結果をふまえて産地交付金を活用した助成を行い、地域の中心となる経営体や農業委員会の協力を得ながら所得及び作業効率向上につながる取組を推進していく。

また、畑地化支援を活用した畑地化やブロックローテーションについては、農業者及び関係機関と連携して導入可能な農地を検討していく。

## ４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

主食用米について、需要に応じた生産数量を確保するとともに、飯米農家が中心であり、飯米の確保が必要であることから、現在の面積を維持する。

（２）備蓄米

備蓄米の作付けについて、令和８年度の作付け予定はない。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

取組なし

イ　米粉用米

取組なし

ウ　新市場開拓用米

取組なし

エ　WCS 用稲
取組なし

オ　加工用米
取組なし

（４）麦、大豆、飼料作物
取組なし

（５）そば、なたね
取組なし

（６）地力増進作物
取組なし

（７）高収益作物
農家の所得向上に向けた面積単価の高い「ほうれんそう」、「ブロッコリー」、「ピーマン」を地域振興作物として位置付け、産地交付金を活用し、農業協同組合等の関係機関と連携を図りながら作付けを推進する。

別紙

## ５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

| 作物等 | 前年度作付面積等 | | 当年度の作付予定面積等 | | 令和８年度の作付目標面積等 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | うち二毛作 | | うち二毛作 | | うち二毛作 |
| 主食用米 | 3.74 | 0 | 3.79 | 0 | 3.79 | 0 |
| 備蓄米 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 飼料用米 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 米粉用米 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 新市場開拓用米 | 0 | | 0 | | 0 | |
| WCS用稲 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 加工用米 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 麦 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 大豆 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 飼料作物 | 0 | | 0 | | 0 | |
| ・子実用とうもろこし | 0 | | 0 | | 0 | |
| そば | 0 | | 0 | | 0 | |
| なたね | 0 | | 0 | | 0 | |
| 地力増進作物 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 高収益作物 | 0.23 | 0 | 0.63 | 0 | 0.63 | 0 |
| ・野菜 | 0.23 | 0 | 0.63 | 0 | 0.63 | 0 |
| ブロッコリー | 0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| ほうれんそう | 0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| ピーマン | 0.23 | 0 | 0.23 | 0 | 0.23 | 0 |
| 枝豆 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ・花き・花木 | 0 | | 0 | | 0 | |
| ・果樹 | 0 | | 0 | | 0 | |
| ・その他の高収益作物 | 0 | | 0 | | 0 | |
| その他 | | | | | | |
| ・〇〇 | | | | | | |
| 畑地化 | | | | | | |

## ６　課題解決に向けた取組及び目標

| 整理番号 | 対象作物 | 使途名 | 目標 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 前年度（実績） | 目標値 |
| 1 | ブロッコリー | 地域振興作物助成 | 作付面積 | （6年度）0ha<br>（7年度）0ha | （8年度）　0.2ha |
| 1 | ほうれんそう | 地域振興作物助成 | 作付面積 | （6年度）0ha<br>（7年度）0ha | （8年度）　0.2ha |
| 1 | ピーマン | 地域振興作物助成 | 作付面積 | （6年度）0ha<br>（7年度）0.23ha | （8年度）　0.2ha |

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

## 7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：普代村農業再生協議会

| 整理番号 | 使途<br>※1 | 作期等<br>※2 | 単価<br>（円/10a） | 対象作物<br>※3 | 取組要件等<br>※4 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域振興作物助成 | 1 | 18,000 | ブロッコリー、ほうれんそう、ピーマン | 作付面積に応じて支援 |

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。